

エコアクション21

環境経営レポート

令和4年度

(活動期間 令和4年6月～令和5年5月)



発行日 令和5年8月31日

株式会社 川武潜水興業

1.組織の概要

- 1) 事業所名 株式会社川武潜水興業
代表者氏名 代表取締役 川下 淑子
- 2) 所在地 本社 〒849-1613 佐賀県藤津郡太良町大字大浦丙975-2
大浦営業所 〒849-1613 佐賀県藤津郡太良町大字大浦丙1501-5
長崎支店 〒859-0164 長崎県諫早市小長井町牧256-11
鹿島支店 〒849-1321 佐賀県鹿島市古枝甲610-1
新潟支店 〒950-2002 新潟県新潟市西区青山3丁目2-1(102号)
- 3) 環境管理責任者 川下 淑子
担当者氏名 川下 景子
連絡先 TEL 0954-68-2178 FAX 0954-68-3663
- 4) 事業の概要 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業

5) 事業規模

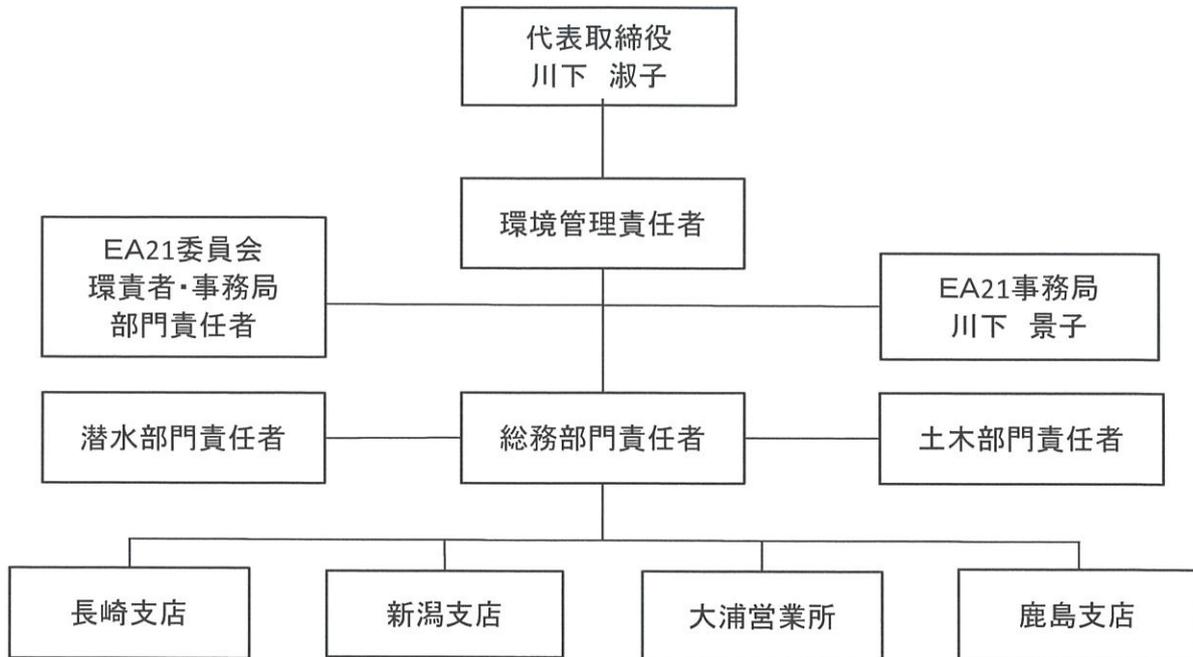
	単位	令和4年度
売上高	百万円	694
従業員	人	50
床面積	m ²	2,236

- 6) 事業年度 6月～翌年5月

2.認証・登録の対象範囲

- 1) 事業活動 土木工事業、とび・土工工事業、石工事業、鋼構造物工事業
舗装工事業、しゅんせつ工事業、水道施設工事業、解体工事業
- 2) 対象範囲 全組織 (本社、大浦営業所、長崎支店、鹿島支店、新潟支店)

3.実施体制



役割分担表

所属	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表者として環境経営全般について責任と権限を持つ ・環境方針を作成・見直し、従業員に周知する ・環境管理責任者、EA21事務局員を任命する ・環境への取組を実施するための資源(人・もの・金)を準備する ・EA21全体の取組状況に関し評価、見直しを実施する
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・EA21ガイドラインの要求事項を満たす環境経営システムを構築し実行し、環境実績を向上させる ・毎年、環境経営目標、環境経営計画を作成する ・3ヶ月に1回、環境経営目標の達成状況及び環境活経営計画の実施状況を確認・評価する ・上記の結果を代表者に報告する
EA21委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・3ヶ月に1回会議を開催し、環境経営目標及び環境経営計画の実施状況を審議する
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者を補佐し、EA21文書及び記録類、及び基礎データの作成・維持・集計、管理を行う ・社外からの環境情報の収集と伝達を行う
部門長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針、環境経営目標、環境経営計画を部門全員に周知する ・環境経営目標達成の為、責任をもって自部門の環境活動を推進する ・自部門で発生した問題点の是正処置、予防処置を実施する ・自部門に関連する法規制等を順守する ・自部門に関連する緊急事態への準備及び対応の訓練を実施する ・自部門の教育、訓練を実施する
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取組の重要性を自覚する ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加する

4.環境経営方針

・基本理念

株式会社川武潜水興業は建設工事の施工、管理を行う上で地球の環境保全を目標としています。地球温暖化、環境問題等は切実な問題であり最重要な課題であることを再度認識し率先して環境経営の継続的な改善に役立てるよう取り組みます。

・行動方針

- ①環境関連法による法律・条例を遵守する
- ②改善目標を定め、積極的に取り組む
 - ・CO2の削減
 - ・廃棄物の削減
 - ・水の使用量の削減
 - ・化学物質の管理に努める
 - ・グリーン購入を推進し、エコ商品を取り入れる
 - ・環境に配慮した工事施工に努める
 - ・地域住民との環境コミュニケーションの推進
- ③環境方針を従業員全員に徹底する

平成22年1月4日 制定

令和2年8月31日 改定

株式会社川武潜水興業

代表取締役 川下 淑子

5.1環境経営目標、並びに次年度以降の環境経営目標

中長期目標 令和2年～令和4年

R4年度環境経営目標【活動期間R4.6月～R5.5月】

環境経営目標		単位	令和1年度	R2年度目標	R3年度目標	R4年度目標	
			(基準年度)	(0.5%減)	(1%減)	(1.5%減)	
	二酸化炭素排出量の削減	全社	kg・CO ₂	242,198	240,987	239,776	238,565
1	① 電気使用量の削減	事務所	kWh	34,587	34,414	34,241	34,068
	② LPガス使用量の削減	事務所	kg	195	194	193	192
	③ ガソリン使用量の削減	現場	ℓ	63,554	63,236	62,918	62,601
	④ 軽油使用量の削減	現場	ℓ	23,497	23,380	23,262	23,145
	⑤ 灯油使用量の削減	現場	ℓ	8,122	8,081	8,041	8,000
2	① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	119	118	118	117
	② 廃棄物排出量の削減	現場	t	85	84	84	83
3	① 水使用量の削減	事務所	m ³	234	233	232	230
4	① 化学物質の適正使用		kg	適正使用	適正使用	適正使用	適正使用
5	① 環境に配慮した工事		—	事故ゼロ 苦情ゼロ	事故ゼロ 苦情ゼロ	事故ゼロ 苦情ゼロ	事故ゼロ 苦情ゼロ
6	① 地域貢献 事務所・現場周辺の清掃		回	12	12	13	13

備考：（ ）内%はR1年度実績をベースとして削減率又は向上率をしめす

※1)事業年度は「6月1日～翌年の5月31日」

※2)九州電力（株）のR1年度の調整後排出係数(0.370kg-CO₂/kWh)を使用

5.2環境経営目標、並びに次年度以降の環境経営目標

次期中長期目標 令和5年～令和7年

次期短期目標 R5年度環境経営目標【活動期間R5.6月～R6.5月】

環境経営目標		単位	令和4年度	R5年度目標	R6年度目標	R7年度目標	
			(基準年度)	(0.5%減)	(1%減)	(1.5%減)	
	二酸化炭素排出量の削減	全社	kg・CO ₂	255,146	253,870	252,595	251,319
1	① 電気使用量の削減	事務所	kWh	31,035	30,880	30,725	30,569
	② LPガス使用量の削減	事務所	kg	233	232	231	230
	③ ガソリン使用量の削減	現場	ℓ	66,405	66,073	65,741	65,409
	④ 軽油使用量の削減	現場	ℓ	29,831	29,682	29,533	29,384
	⑤ 灯油使用量の削減	現場	ℓ	3,651	3,633	3,614	3,596
2	① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	184	183	182	181
	② 廃棄物排出量の削減	現場	m ³	436	434	432	429
3	① 水使用量の削減	全体	m ³	196	195	194	193
4	① 化学物質の適正使用		kg	適正使用	適正使用	適正使用	適正使用
5	① 環境に配慮した工事		—	事故ゼロ 苦情ゼロ	事故ゼロ 苦情ゼロ	事故ゼロ 苦情ゼロ	事故ゼロ 苦情ゼロ
6	① 地域貢献 事務所・現場周辺の清掃		回	13	13	13	14.0

備考：（ ）内%はR4年度実績をベースとして削減率又は向上率をしめす

※1)事業年度は「6月1日～翌年の5月31日」

※2)九州電力（株）のR4年度の調整後排出係数(0.462kg-CO₂/kWh)を使用

6.環境経営計画（建設業）

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	活動期間																
				2022					2023											
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5					
1	電気使用量の削減	事務所	川下	1	エアコン設定温度は適宜設定する	←					実行					→				
				2	昼休みの消灯	←					実行					→				
				3	残業時の不要な照明の消灯	←					実行					→				
				4	長時間席を離れるときの、パソコンの電源のOFF	←					実行					→				
				5	高効率蛍光灯、インバーター照明機器の導入	←					実行					→				
				6	不用電力消費抑制（不要な場合は機械を止める運動）	←					実行					→				
2	LPガスの削減	事務所	川下	←					実行					→						
3	ガソリン使用量の削減	現場	川下	1	エコドライブの励行	←					実行					→				
				2	アイドリングストップの励行	←					実行					→				
4	軽油使用量の削減	現場	川下	1	省エネドライブの励行	←					実行					→				
				2	リフト運転と搬送方法の見直し	←					実行					→				
				3	アイドリングストップの手順を決め、実行する	←					実行					→				
				4	重機の燃費向上（エコ運転）	←					実行					→				
				5	重機・車両の適正空気圧の整備	←					実行					→				
5	灯油使用量の削減	現場	川下	←					実行					→						
6	使用車両の省エネ化	事務所	川下	1	ガソリン車は更新時に「平成22年度燃費基準達成車」以上の車両を導入する	←					実行					→				
				2	ディーゼル車は更新時に「平成17年度燃費基準達成車」以上の車両を導入する	←					実行					→				

2. 排出量の削減

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	活動期間																
				2022					2023											
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5					
1	紙使用量の削減	事務所	川下	1	ペーパーレス化の推進	←					実行					→				
				2	裏紙の使用	←					実行					→				
2	廃棄物のリサイクル	事務所	川下	←					実行					→						
1	産業廃棄物のリサイクル率の向上	現場	川下	1	廃棄物の分別方法の工夫と徹底	←					実行					→				
				2	再利用・再生利用の推進（特に木くず。上記1と関連）	←					実行					→				

3. 水使用量の削減

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	活動期間														
				2022					2023									
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5			
1	節水活動	現場	川下	←					実行					→				

4. 資質の使用について

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	活動期間														
				2022					2023									
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5			
1	資質の適正使用	現場	川下	←					実行					→				

5. 配慮した工事施工

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	活動期間																
				2022					2023											
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5					
1	事故ゼロ	現場	川下	1	KY活動の定期実施	←					実行					→				
				2	安全パトロールの実施	←					実行					→				
2	苦情ゼロ	現場	川下	1	騒音、振動、粉じんの低減	←					実行					→				
				2	船舶からビルジや油類を流出させない。	←					実行					→				

6. 貢献・継続維持

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	活動期間																
				2022					2023											
				6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5					
1	事務所・現場周辺の清掃	全社	川下	1	事務所・現場周辺の清掃活動	←					実行					→				
				2	地域の清掃活動に参加、機械の貸し出し	←					実行					→				

7.環境経営目標の実績とその評価

R4年度環境経営目標【活動期間R4.6月～R5.5月】

環境経営目標		単位	令和1年度 (基準年度)	R4年度目標 (1.5%減)	R4年度実績	達成率	判定	
	二酸化炭素排出量の削減	全社	kg・CO ₂	242,198	238,565	252,297	94.6%	△
1	① 電気使用量の削減	事務所	kWh	34,587	34,068	31,035	109.8%	○
	② LPガス使用量の削減	事務所	kg	195	192	233	82.3%	×
	③ ガソリン使用量の削減	現場	ℓ	63,554	62,601	66,405	94.3%	△
	④ 軽油使用量の削減	現場	ℓ	23,497	23,145	29,831	77.6%	×
	⑤ 灯油使用量の削減	現場	ℓ	8,122	8,000	3,651	219.1%	○
2	① 一般廃棄物排出量の削減	事務所	kg	119	117	184	63.5%	×
	② 廃棄物排出量の削減	現場	t	85	83	436	19.1%	×
3	① 水使用量の削減	事務所	m ³	234	230	196	117.6%	○
4	① 化学物質の適正使用		kg	適正使用	適正使用	適正使用	100.0%	○
5	① 環境に配慮した工事		—	事故ゼロ 苦情ゼロ	事故ゼロ 苦情ゼロ	0	100.0%	○
6	① 地域貢献 事務所・現場周辺の清掃		回	12	13	13	100.0%	○

達成率基準 ○：98%以上 △：90～98% ×：90%未満 ×は是正対象

備考：（）内%はR1年度実績をベースとして削減率又は向上率をしめす

※1)事業年度は「6月1日～翌年の5月31日」

※2)九州電力（株）のR1年度の調整後排出係数(0.370kg-CO₂/kWh)を使用

8.環境経営計画の取組実績評価及び次年度以降の取組み

1. 二酸化炭素排出量の削減

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	評価	取組み概要及び次年度以降の取組み
1 電気使用量の削減	1 エアコン設定温度は適宜設定する	事務所	川下	○	不要な電源を切ったり、エアコンの適切な温度管理などよくできていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 昼休みの消灯				
	3 残業時の不要な照明の消灯				
	4 長時間席を離れるときの、パソコンの電源のOFF				
	5 高効率蛍光灯、インバーター照明機器の導入				
	6 不用電力消費抑制(不要な場合は機械を止める運動)				
2 LPガスの削減	1 給湯機等の効率使用	事務所	川下	○	ガスの不使用時には元栓などを閉めていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
3 ガソリン使用量の削減	1 エコドライブの励行	現場	川下	○	エコドライブがよくできていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 アイドリングストップの励行				
4 軽油使用量の削減	1 省エネドライブの励行	現場	川下	○	エコドライブがよくできていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 リフト運転と搬送方法の見直し				
	3 アイドリングストップの手順を決め、実行する				
	4 重機の燃費向上(エコ運転)				
	5 重機・車両の適正空気圧の整備				
5 灯油使用量の削減	1 暖かい格好をし効率的に使用する	現場	川下	○	エアコンと併用して効率的に使用できていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
6 使用車両の省エネ化	1 ガソリン車は更新時に「平成22年度燃費基準達成車」以上の車両を導入する	事務所	川下	○	車の購入の指標になっていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 ディーゼル車は更新時に「平成17年度燃費基準達成車」以上の車両を導入する	事務所	川下	○	

2. 廃棄物排出量の削減

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	評価	取組み概要及び次年度以降の取組み
1 紙使用量の削減	1 ペーパーレス化の推進	事務所	川下	○	ペーパーレス化などよくできていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 裏紙の使用				
2 廃棄物のリサイクル	1 ゴミの分別排出	事務所	川下	○	ごみの分別排出など適切に処理できていた。
1 産業廃棄物のリサイクル率の向上	1 廃棄物の分別方法の工夫と徹底	現場	川下	○	※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 再利用・再生利用の推進(特に木くず。上記1と関連)				

3. 水使用量の削減

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	評価	取組み概要及び次年度以降の取組み
1 節水活動	1 総排出量の削減(出しっぱなしにしない)	現場	川下	○	節水活動がよくできていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。

4. 化学物質の使用について

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	評価	取組み概要及び次年度以降の取組み
1 化学物質の適正使用	1 化学物質の適正使用	現場	川下	○	化学物質を適正使用・保管できていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。

5. 環境に配慮した工事施工

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	評価	取組み概要及び次年度以降の取組み
1 事故ゼロ	1 KY活動の定期実施	現場	川下	○	KY活動、安全パトロールを定期的に行い事故はなかった。※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 安全パトロールの実施				
2 苦情ゼロ	1 騒音、振動、粉じんの低減	現場	川下	○	建設事故を起こさず、近隣からの苦情はなかった。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 船舶からビルジや油類を流出させない。				

6. 地域貢献・継続維持

取組目標	活動項目	サイト区分	責任者	評価	取組み概要及び次年度以降の取組み
1 事務所・現場周辺の清掃	1 事務所・現場周辺の清掃活動	全社	川下	○	清掃活動には積極的に参加できていた。 ※次年度以降も継続して取組みを行う。
	2 地域の清掃活動に参加、機械の貸し出し				

9.SDGsへの取組み



株式会社川武潜水興業 SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs)」に賛同し、
持続可能な社会の実現に向けた積極的な取組みを行います。

2023年9月1日
株式会社川武潜水興業
代表取締役 川下 淑子

環境保全を意識した経営

環境問題を最重要の課題と再認識することで率先して環境経営の継続的な改善に役立つ業務に取り組んでまいります。

【具体的な取組み】

- ・エコアクション21の取得
- ・CO2、エネルギー資源等の削減
- ・廃棄物排出量の削減、リサイクル率の向上



働き甲斐のある職場づくり

従業員がやりがいを持って働けるように、資格取得の奨励、技術力向上に向けた育成に注力することで安心して働ける労働環境づくりを行なってまいります。

【具体的な取組み】

- ・資格取得奨励、講習等の積極参加
- ・KY活動の取組み
- ・定期健康診断の実施
- ・フレックスタイム制の導入



社会から信頼される企業を目指して

当社が関わる全ての工事にプライドをもち、環境に配慮した安心で安全な事業活動に取り組んでまいります。

【具体的な取組み】

- ・法令順守の徹底
- ・廃棄物の分別徹底
- ・緊急時対応マニュアルの作成及び訓練の実施



社会貢献・地域貢献

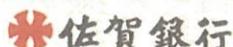
地元地域や事業を展開する地域等との交流を大切にし、地域の発展に貢献できる取組みを積極的に行うことで持続可能な地域社会の形成に貢献してまいります。

【具体的な取組み】

- ・事業展開地域の保育園の職場見学、小学校の職業体験の受入れ
- ・地元地域でのボランティア活動、寄付



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



10.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟などの有無

主な環境関連法規名	主な遵守事項	遵守状況
廃棄物処理法	・マニフェストの保管	○
オフロード法	・適合証明の確認	○
騒音規制法	・基準デシベル以下の作業	○
振動規制法	・基準デシベル以下の作業	○
消防法	・火災予防に必要な措置をとる	○
フロン排出抑制法	・簡易定期点検の実施	○
PRTR法	・対象物質をリスト化して管理する。	○

環境関連法規の順守状況を確認した結果、違反はありません。
また、関係機関等からの指摘、利害関係者からの訴訟や苦情もありませんでした。

11.代表者による全体の評価と見直し

評価

1. 全社員一丸となってエコ活動に取り組んでいる。
2. 各現場事故なく、苦情なく、手もどりなく、適切な施工管理を実施している。
3. 報告・連絡・相談を徹底している。

見直し

環境経営方針、環境経営目標及び計画、実施体制の変更はなく継続する。

1. 今度とも継続してエコ活動を実施する。
2. 今後とも環境に配慮した施工を行う。
3. 今後とも報告・連絡・相談を徹底する。